

製品名: BAM32 (リン酸化 Tyr139) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04299**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	DAPP1
別名	DAPP1; BAM32; HSPC066; Dual adapter for phosphotyrosine and 3-phosphotyrosine and 3-phosphoinositide; hDAPP1; B lymphocyte adapter protein Bam32; B-cell adapter molecule of 32 kDa
遺伝子 ID	27071.0
SwissProt ID	Q9UN19
免疫原	抗血清は、ヒト DAPP1 の Tyr139 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 105-154

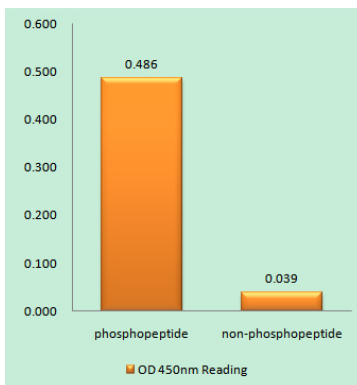
背景

機能: PI3Kの下流でB細胞抗原受容体(BCR)シグナル伝達を制御するB細胞関連アダプターとして機能する可能性がある。誘導: B細胞の活性化時。PTM: チロシン残基がリン酸化される。類似性: PHドメインを1つ含む。類似性: SH2ドメインを1つ含む。細胞内局在: 細胞刺激後に膜に会合し、転座する。サブユニット: PtdIns(3,4,5)P3およびPLCG2と相互作用する。in vitroではPtdIns(3,4)P2と相互作用する。組織特異性: 胎盤および肺で高く発現しており、次いで脳、心臓、腎臓、肝臓、膵臓、骨格筋で高い発現を示す。Bリンパ球によって発現しますが、Tリンパ球や非造血細胞では発現しません。機能: PI3Kの下流でB細胞抗原受容体(BCR)シグナル伝達を制御するB細胞関連アダプターとして機能する可能性があります。誘導: B細胞の活性化時。PTM: チロシン残基がリン酸化されます。類似性: 1つのPHドメインを含みます。類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。細胞内局在: 細胞刺激後に膜に会合し、転座を引き起こします。サブユニット: PtdIns(3,4,5)P3およびPLCG2と相互作用します。in vitroではPtdIns(3,4)P2と相互作用します。組織特異性: 胎盤および肺で高く発現し、次いで脳、心臓、腎臓、肝臓、膵臓、骨格筋で多く発現します。Bリンパ球によって発現されるが、Tリンパ球や非造血細胞では発現されない。

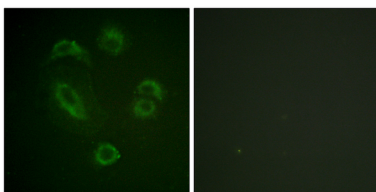
研究分野

B細胞抗原;

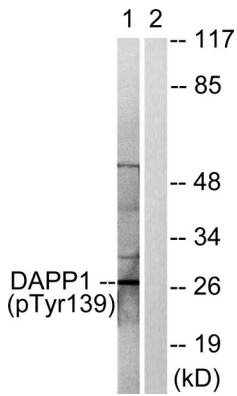
画像データ



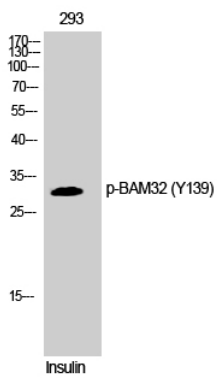
DAPP1 (リン酸化 Tyr139) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



DAPP1 (リン酸化 Tyr139) 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした画像です。



インスリン 0.01U/ml 2'処理した 293 細胞ライセートの DAPP1 (リン酸化 Tyr139) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンがリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 BAM32 (Y139) ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析